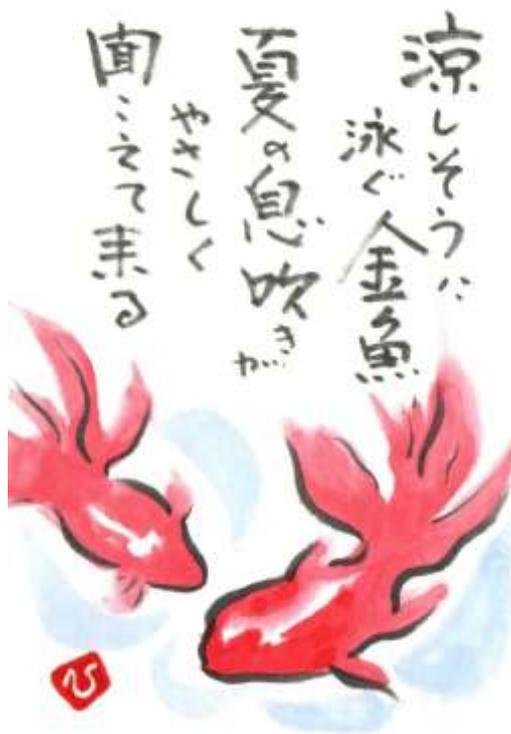


足利風 -ashikaga-fu

2023
夏号
Vol.86



画：斎藤 博

足利市民活動センター

開館時間：平日 10:00～19:00

休館日：土・日・祝日・第3月曜日

〒326-0052

栃木県足利市相生町1-1

足利市生涯学習センター3F

TEL 0284 (44) 7311

FAX 0284 (44) 7312

Mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- *特集!
「禅とシリコンバレーと震災と・・・」
- *言葉のあやとり
「だれ一人も取り残さない」
- *私のボランティアことはじめ
「『歴史文化のまち』足利で歴史文化が消えていってしまう!？」
- *マチのちゃぶ台
「『魔界都市足利』よ、甦れ!」
- *INFORMATION

* 特集！ *

「禅とシリコンバレーと震災と・・・」

墨をたっぷり含んだ肉太の筆で、臨済宗の名僧・白隠禅師は「南無地獄大菩薩」と大書した。地獄に向き合うことにより、人びとに菩提心＝他者の幸せを願い行動する気持ち＝が芽生える。そんな意味だ。地獄とは悪人が死後に赴く場所ではなく、この世界に時折、現れる時空なのだろうか。未曾有の天災に私たちは言葉を失い、胸の前で手を合わせるしかなかった。あの時、日本列島は儀式化されない原初の祈りに満ちていた。



阪神淡路大震災の時、中井久夫氏は「存在してくれること」がボランティアの第一義であると述べた。震災体験は私たちに“心の傷と癒し”という普遍的な問題を垣間見せたのである。東日本大震災においても、人工的な都市がいかに脆いものであるか、そして人間とはいかに傷つきやすいものであるかを思い知らされた・・・傷ついた人が心を癒すことのできる社会を選ぶのか、それとも傷ついた人を切り捨てていく厳しい社会を選ぶのか。神戸で不眠不休で被災者救済にあたった後、三十歳代で亡くなった医師・安 克昌は書いている・・・世界は心的外傷に満ちている。“心の傷を癒すということ”は、精神医学や心理学に任せて済むことではない。それは社会の在り方として、今を生きる私たち全員に問われていることなのである・・・と。

世界をシリコンバレーから変え、スタンフォード大学での名演説“STAY

HUNGRY、STAY FOOLISH (ハングリーであれ、愚直であれ) “を残したアップル創業者・スティーブ・ジョブズはZEN (禅) に傾倒し、その製品の簡素なデザイン・引き算の精神は、まさしく禅の精神と言われる。実は、ジョブズの苦難の人生を支えた“泥中の蓮”のごとき日本人禅僧がいた。名は乙川弘文。その計らいが無く、良寛のように自然に生きて世間の俗にまみれもした禅僧はジョブズ同様、毀誉褒貶に包まれた人物だった。新潟の曹洞宗の禅寺に生まれ、駒沢大学・京都大学大学院で学び、永平寺に入山。ヒッピー文化最盛期の米国に渡った。その米国で徹底的に挫折し懊悩し尽くし、生き方を反転させた。自ら願って地獄に堕ちた、と言われた。であればこそ、破天荒な苦悩する若きジョブズに「シリコンバレーに留まれ。ビジネスと精神世界は矛盾しない！」と言えたのだ。ジョブズは弘文と出会い“転依”を体験したのだ。小さな自分を忘れた瞬間、全世界が現れるのだ。(M生)

* 言葉のあやとり * 「だれ一人も取り残さない」

～SDGs (Sustainable Development Goals) という挑戦～

サステナビリティ (Sustainability) = 持続可能性

持続可能な開発 ⇒ 次世代が暮らす未来のことを考慮しながら、現行世代の開発を考えなければならない！

気候変動や生物多様性の喪失など地球システムの崩壊への危機意識の高まりにより、2015年国連総会で採択されたのが「SDGs」(持続可能な開発目標)です。SDGsの素晴らしさは、私たちの暮らす社会・経済・環境などを包括的に、多様な観点からとらえたものになっていることです。その結果、あらゆる立場の人や国が当事者として参加でき、世界的なプラットフォームが構築されたのです。現在(いま)の、このような地球に変えてしまったのは私たち人類です。だから今度は私たちが変わる番なのです。

* 私のボランティアことはじめ *

『『歴史文化のまち』足利で歴史文化が消えていってしまう！？』

NPO 法人足利歴史まちづくりの会 理事長 沼尻了俊

足利市は縄文時代からの遺跡も数多く発見され、また神社と寺院の数が 300 ほどと関東地方では最多（鎌倉市は約 160）とも言われ、「歴史文化のまち」と称されます。

しかし、少子高齢化や地方衰退の流れの中で地域の寺社や行事に関わる人々が減り、それと共に古来より行われてきた祭りや様々な風習、言い伝えなどの文化も消えつつあります。

NPO 法人「足利歴史まちづくりの会」は、足利に残された歴史や文化を地域の皆様から教えて頂き、足利市民みんなで共有して引き継ぎ、日本中に、世界中に広めていこうという団体です。消えていってしまう歴史文化を引き継いで行くためには、皆様のご協力が欠かせません。ぜひ皆様のお住まいの地域に伝わるお祭りや言い伝え、文化財など何でも構いませんので一緒に集めて広めていきましょう。そして、今まさに途絶えつつある歴史文化を次の世代へと引き継いでいきましょう。

みんなで足利の歴史文化を知って、
みんなで足利のことを好きになって、
みんなで次の世代へと引き継いでいくまちづくりを！



* マチのちゃぶ台 *

「“魔界都市足利”よ、甦れ！」

「〇〇のまち」と例えられる足利には様々な入り口があり、そのひとつが“魔界”です。「魔界」の対義語は「仏界」ですが、「魔界即仏界」（魔の世界がそのまま仏の世界である）とする仏教の教えのように「魔界」なくして「仏界」はありません。長い歴史を持つ足利は、時代の闇にうごめく怨霊たちに脅かされてきました。それは妬みやゆえなき不正を受けて非業の死をとげた英雄たちの無念と怨念の祟りであり、為政者の“表”の歴史に対する“裏”の歴史です。その鎮魂のため足利に多くの社寺が建立され、怨霊はうつし世を生きる人々の祈りと願いによって祟り神から一転、御霊神として超越的な霊力をもって足利を守護し、発展させてきました。近代都市足利が行きづまりを見せるなか、怨霊は記憶され、信仰され、今も生きています。



私ども「緑がおいしい北の郷探偵団」では、古都観光を目指す足利にとって必須のコアファン層向けのガイドマップ『“裏”足利魔界紀行』を足利市の支援を受け、企画・発行しました。「平将門」「足利忠綱」を軸に知られざる足利の怨霊史、魔界的パワースポットを紹介しています。

“魔界都市足利”よ、甦れ！

（緑がおいしい北の郷探偵団 中島 太郎）

* INFORMATION *

※コロナ感染対策により内容が変更・中止になる場合があります。）

☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

だれにでも心に残る一冊の本があります。童話・小説・詩集・・・等々。
その一冊の本を導きの糸として、案内人を囲んで、参加者のみなさんと一緒に、
ワイワイガヤガヤ・・・と。新しい人との出会いや物語を紡いでみませんか。

★令和5年7月22日(土) PM1:00～3:00

* 本 : 絵本「しなきや、なんてない。」(LIFULL)

* 案内人 : 中島由貴子 さん

* ひとこと : 作:LIFULL 絵:岡村優太。結婚しなきや。都会に住まなきや。定年で退職しなきや。私 たちの人生にはたくさんの見えない「枠」がある。だが、それに縛られる必要なんてどこにもない。この本は、既成概念にとらわれない多様な暮らし・人生を応援する絵本です。ぜひ一緒に!

★令和5年8月18日(金) PM2:00～4:00

* 本 : 「日本の近代化遺産」(伊東 孝)

* 案内人 : 北村 隆 さん

* ひとこと : 近代化遺産とは、従来の文化財を超えて、その地域の人々の営みを示す歴史的建造物であることを明らかにしながら、近年注目され始めた多様な近代化遺産の見方、楽しみ方を紹介します。現在、そして今後の町づくりの遺産として活用することを分かりやすく説明しています。みなさん・・・一緒にどうぞ!

★令和5年9月15日(金) PM2:00～4:00

* 本 : NHK100分 de 名著「自分の感受性ぐらい(茨木のり子)」(若松英輔)

* 案内人 : 石川 博右 さん

* ひとこと : 読書の学校～NHK100分で名著「自分の感受性ぐらい」(茨木のり子)の詩を、人生に光を見つける達人・若松英輔さんと一緒に読み、あなたを支える言葉に出逢いたいと思います。長い人生を歩む中で時々生きる意味を見失ってしまうことがあるかもしれませんが、ある言葉に出逢うことが人生をより豊かにしてくれることがあるということを感じてみませんか?!

■参加費: 無料

■会場/問い合わせ: 足利市民活動センター ☎44-7311

☆「企画展」(交流コーナー) (土・日・祝日・第3月曜日は休館日)

- * 7月 3日(月)～ 7月13日(木) SDGsの世界展
- * 7月19日(水)～ 7月27日(木) まんま&絵本庵
- * 7月31日(月)～ 8月10日(木) 足利の職人技展
- * 8月22日(火)～ 8月31日(木) ひょうたん置き物飾り展
- * 9月 4日(月)～ 9月14日(木) パステル・フレンズ展
- * 9月20日(水)～ 9月28日(木) 足利の近代化遺産展

※展示時間・・・10:00～19:00 ただし最終日は15:00まで

☆「相談室」&「講座」 ※詳しくは、別紙参照

- * 相談室 = 7月 9日(日) 13:00～15:00 「SDGs はじめの一步」
8月 9日(水) 14:00～16:00 「住まいの職人ばなし」
9月13日(水) 14:00～16:00 「ホームページの作り方」
- * 講座 = 7月 6日(木) 19:00～21:00 「地域の居場所」
8月 3日(木) 19:00～21:00 「SDGs と教育」
9月 7日(木) 19:00～21:00 「SDGs と企業」

編集後記

今年は気温の変化が激しく、暑かったり寒かったり、温度調整が難しいですね。
お盆などでお休みもありますが、こまめな水分補給やしっかりと休息を取るなど、
自分の体を労わりつつ、日々を過ごしていきたいですね。 (すずうさぎ)